

立体視 3DCG アニメーション制作 指導者向けセミナー

映画やゲーム機では、立体視映像が話題を呼びコンテンツ制作の表現技術として広がりを見せています。一方、立体視映像は、その華やかな効果がある一面、正しい知識と制作スキルをもってコンテンツ制作を行わないと、視聴者へ不快感や人体へ悪影響を与えてしまうことがあります。こうした立体視映像に関する知識や制作スキルを持った人材は、産業界でも不足している現状です。

そこで、「立体視 3DCG アニメーション制作」の基礎知識の講義から MAYA、AfterEffects 等 CG ソフトを使用した制作スキルの演習まで行うセミナーを開催いたします。

また、参加者には「指導者用教材」一式を進呈致します。「指導者用教材」には、立体視 3DCG アニメーションに関する電子教科書・電子ワークブック・映像教材・アセットデータ・実技課題等を収録しており、ご所属機関における授業や研修など、教育目的でご利用して頂くことができます。



- 【日程】 2011 年 12 月 26 日(月) 9:45~18:00
2011 年 12 月 27 日(火) 9:45~18:00 ※両日とも同一のプログラムです。
- 【場所】 デジタルハリウッド東京本校 7B 教室
住所:〒101-0062 千代田区神田駿河台 2-3 DH2001 Bldg.
電話:0120-386-810
- 【対象】 大学、専門学校等の教育指導者、
制作プロダクションのディレクター、プロデューサー等
- 【講師】 宮島英豪氏(S3D スーパーバイザー)
川島基展氏(東京工科大学 兼任講師)
※講師プロフィールは、別紙①を参照ください。
- 【プログラム】 1 時限目 「立体視3DCGの原理と基礎知識」
2 時限目 「立体視3DCGの基本的な制作手法」
3 時限目 「立体視3DCGの制作テクニック」
4 時限目 「S3D アニメ『獣兵衛』を使った視差調整」
※詳細は、別紙①をご参照ください。
- 【使用機材】 ハードウェア:Windows ワークステーション
ソフトウェア:MAYA2011、AdobeAfterEffectsCS5.5、OpenOffice
※上記ハード・ソフトを使用して演習を行います。
- 【定員】 各回 20 名 ※各回 5 名様以上の申し込みで開催いたします。
- 【参加費】 ¥50,000 ※参加者には、「指導者用教材」一式を進呈致します。
- 【申込み方法】 別紙②の「受講申込み票」にご記入して頂き、E-mail 添付 か FAX にてお送りください。
- 【指導者用教材】 <内容>
・電子教科書、電子ワークブック(html 形式)
・映像教材:「S3DCGアニメ-獣兵衛」
・アセットデータ
モデルデータ(キャラクタ、背景)
各カットデータ
・実技課題
※本教材の使用は、所属機関での「授業」「研修」等、教育目的の利用に限らせて頂きます。
- 【主催・問合せ】 CG-ARTS協会
教育事業部 担当:小澤
〒104-0031 東京都中央区銀座 1-8-16 Tel: 03-3535-3501 Fax:03-3562-4840
E-mail:s3dcdg@cgarts.or.jp URL: www.cgarts.or.jp

立体視3DCGアニメーション制作 指導者向けセミナー

■プログラム(12月26日・27日各日同内容)

時限	講師・タイトル	内容
オリエンテーション (9:45~10:00)	「ワークショップの概要」	・本ワークショップの目的
1時限目 (10:00~11:30)	宮島英豪氏(S3Dスーパーバイザー) 「立体視3DCGの原理と基礎知識」	・立体感の手がかり ・スクリーン面と立体像 ・視聴者への配慮 ・理想的な立体視
2時限目 (11:45~13:15)	宮島英豪氏(S3Dスーパーバイザー) 「立体視3DCGの基本的な制作手法」	・平行法と交差法 ・ステレオカメラの調整方法、手順 ・HIT(Horizontal Image Translation)の解説、演習 ・表示方式と信号方式のマッチング
3時限目 (14:15~15:45)	川島基展氏(東京工科大学 兼任講師) 「立体視3DCGの制作テクニック」	・ディスプレイサイズの違いによる注意点 ・SWV(ステレオウィンドウバイオレーション) ・輻輳のジャンプ ・箱庭効果 ・書割効果
4時限目 (16:00~17:30)	宮島英豪氏(S3Dスーパーバイザー) 「S3Dアニメ『獣兵衛』を使った視差調整」	・「S3DCGアニメ-獣兵衛」の視差評価 ・獣兵衛のカットを使用した視差調整 ・視差評価のコツ
5時限目 (17:30~18:00)	質疑応答	

■講師紹介

名前/所属	プロフィール
宮島英豪氏 (S3Dスーパーバイザー) 	2000年3月デジタルハリウッドを卒業し、ポストプロダクションMcRAY CGチーム勤務を経て、2006年よりウェルツアニメーションスタジオ制作部部長。2009年からフリーランスのCG Generalist / Digital Artistとして活動。近年は、立体視映像の制作方法を分かりやすく伝える、映像制作者向けのセミナーを積極的に実施。広告制作会社・ポストプロ・アニメ制作会社・ゲーム開発会社・CGプロダクションなどのさまざまな企業でレクチャーを多数行っている。2011年4月にワークスコーポレーションから「よくわかるS3D映像制作-実例から学ぶ立体視の作り方-」を出版。
川島基展氏 (東京工科大学 兼任講師) 	慶應義塾大学政策・メディア研究科修士課程修了。在学時より、フリーランスとしてCGコンテンツ制作業務を始める。卒業後、同大学コンソーシアムEENプロジェクト研究員を経て、1999年の東京工科大学片柳研究所クリエイティブ・ラボの創設時から参加。同研究所でのCGコンテンツ制作技術の研究開発やコンテンツ制作に従事するとともに、同大学メディア学部でのCGアニメーション教育や、姉妹校である日本工学院専門学校の教育支援に携わってきた。 近年は、東京工科大学メディア学部の兼任講師および演習講師を務める傍ら、国内外でのゲームクリエイター育成プロジェクトや、CG-ARTS協会によるS3DCGクリエイター育成事業に参画している。また、国内外のコンテンツ制作スタジオの技術支援やコーディネート協力にも取り組んでいる。

受講申込み票

【立体視 3DCG アニメーション制作 指導者向けセミナー】

★下記項目にご記入頂き、E-mail添付 または Fax にてご返信ください。

<送り先>

CG-ARTS 協会 教育事業部 小澤宛

E-mail: s3dcdg@cgarts.or.jp

Fax : 03-3562-4840

★受講申込み票を受領後、受講票と請求書を御送り致します。

★各回5名様以上のお申込で開催させていただきます。参加希望日をかならずご回答ください。

★お申し込み締め切りは 12 月 16 日(金)までとさせていただきます。

お申込日 年 月 日

学校・企業名			
御名前		役職	
所在地	〒		
TEL/FAX		E-mail	
参加希望日	<p>参加希望日を、下記を参照してご記入ください。 (第1希望→①、第2希望→②、参加不可→×)</p> <p>・2011年12月26日(月) 9:45~18:00→_____</p> <p>・2011年12月27日(火) 9:45~18:00→_____</p>		

【個人情報保護方針】

ご記入いただいた個人情報は、CG-ARTS 協会（財団法人 画像情報教育振興協会）が管理・保有いたします。

ご記入いただいた個人情報は、上記目的を達成する範囲内において、業務委託先に預託する場合があります。

※個人情報の変更・削除等のご依頼、その他に関するお問い合わせについては、

[CG-ARTS 協会](http://www.cgarts.or.jp/contact/index.html)(<http://www.cgarts.or.jp/contact/index.html>)までお申し出ください。